

## 主題：聖書の核心

メッセージ 14

### 信仰の中にある神のエコノミー

敬虔（肉体における神の団体の現れ）の奥義としての召会という結果になる

聖書：I テモテ 1:4. 3:15-16

- I. 神のエコノミーは神の家庭の行政であり、それはキリストにあるご自身を彼の選ばれ贖われた人の中へと分与し、家を持ってご自身を表現することであり、その家は召会、キリストのからだです——I テモテ 1:4. 3:15：
- A. 神のエコノミーは、神の家庭の行政として、彼の御子のためにからだを生み出し構成することです——エペソ 1:22-23. 2:16. 3:6. 4:4, 16. 5:30。
- B. 聖書の中心的な主題は神のエコノミーであり、聖書全体は神のエコノミーに関するものです——I テモテ 1:4. エペソ 1:10：
1. 聖書における支配し制御するビジョンは神聖なエコノミーです——箴 29:18 前半。
  2. わたしたちは聖書を読むとき、神聖な分与のための神聖なエコノミーにわたしたちの注意を集中する必要があります——エペソ 3:9。
- C. キリストは神の永遠のエコノミーの要素、範囲、手段、目標、目的です。彼は神のエコノミーにおけるすべてです——マタイ 17:5. ルカ 24:44。
- D. 神のエコノミーは、ご自身をわたしたちの存在の中へと分与して、わたしたちの存在が彼の存在で構成されることです。これが完成されることができるのは、ただ神がご自身を神聖な命としてわたしたちの中へと分与することによってです——エペソ 3:16-17 前半. ローマ 8:2, 6, 10-11。
- E. 神のエコノミーとは、神が人と成ったのは人が神格においてではなく命と性質において神となり、キリストの有機的なからだを生み出し、それが新エルサレムにおいて究極的に完成するということです——3 節. 1:3-4. 12:4-5. 啓 21:10。
- F. 神の永遠のエコノミーとは、人を神格においてではなく命と性質において彼であるのと同じにし、ご自身を人と一にし、人を彼と一にして、それによって彼の表現において拡大し拡張し、彼の神聖な属性のすべてが人性の美德において表現されるようにするということです——ヨハネ 1:12-14. II ペテロ 1:4。
- G. 神のエコノミーは信仰の範囲において開始され発展します——I テモテ 1:4：
1. 消極的な面で、信仰を活用するとは、わたしたちの働き、わたしたちの行ないをやめることです。積極的な面で、信仰を活用するとは、主に信頼することです——ヘブル 11:6。
  2. 信仰とは、わたしたちは神の要求を成就することはできないが、神はわたしたちのためにすべてのことを行なったこと、神がわたしたちのために計画したすべて、神がわたしたちのために行なったすべて、神がわたしたちに与えたすべてを、わたしたちが受けたことを宣言することです——ヨハネ 1:16。

3. 信仰とは、神のエコノミーの内容の展望を見るという事柄です——ヘブル 12:2 :
  - a. わたしたちは神のエコノミーの内容に関する啓示を見てきたので、見ているものを自然に信じます——エペソ 3:9。
  - b. わたしたちの内側の信じる能力は、神のエコノミーの正常な展望を持った産物、結果です——ヘブル 11:6, 9, 23-26. 12:2。
4. クリスマン生活は信仰の生活、信じる生活です。わたしたちは自分が見ているものにしたがって生活するのではありません。わたしたちは外観によってではなく、信仰によって信じ歩くことにしたがって生活します——ガラテヤ 3:2, 14. ヨハネ 20:25-29. II コリント 5:7。

## II. 信仰の中にある神のエコノミーは、敬虔（肉体における神の団体の現れ）の奥義としての召会という結果になります——I テモテ 3:16 :

- A. 神の現れはまず、肉体における個人の表現としてのキリストの中にありまして——16 節. コロサイ 2:9. ヨハネ 1:1, 14 :
  1. 新約は、神の御子が肉体と成ったとは言っていません。それは、神が肉体において現されたことを啓示しています——I テモテ 3:15-16 :
    - a. 神が肉体において現されたのは、ただ御子としてではなく、神全体（父、子、霊）としてです。
    - b. 神全体（子なる神だけではない）が肉体と成りました。ですから、肉体と成ったときのキリストは、肉体において現された神全体でした——ヨハネ 1:1, 14. 14:10-11。
  2. 神である言は、肉体と成りました。言である神は、部分的な神ではなく、神全体（子なる神、父なる神、霊なる神）です——1:1, 14。
  3. キリストの中に、神たる方の全豊満が肉体のかたちをもって住んでいます。神たる方の全豊満とは神たる方の全体、父、子、霊の豊満を指しています——コロサイ 2:9。
- B. I テモテ第 3 章 15 節から 16 節が示しているのは、かしらとしてのキリストご自身だけが肉体における神の現れではなく、キリストのからだまた神の家としての召会も肉体における神の現れ（敬虔の奥義）であるということです :
  1. 16 節の「敬虔」は、ただうやうやしさだけでなく、神が召会の中で生きていること、すなわち、召会の中で生かし出されて表現される命としての神でもあります。
  2. 召会生活は神の表現です。ですから、敬虔の奥義は正常な召会の生活です——I コリント 1:2-9. 14:24-25。
  3. 神が現されるのは、肉体における拡大された団体の表現としての召会（神の家またキリストのからだ）の中です——エペソ 2:19. 1:22-23 :
    - a. キリストをもって始まった肉体における神の現れは、召会をもって続きます。召会は肉体における神の現れの増し加わり、拡大、増殖です——ヨハネ 14:9. I テモテ 3:15-16。
    - b. これは神の現れとして召会から生かし出されたキリスト、すなわち、肉体と成るといふ新約の原則にしたがって、さらに広い方法で肉体において現された神

です—— I コリント 7:40. ガラテヤ 2:20。

4. 偉大な敬虔の奥義とは、神が人と成った、それは人が神格においてではなく命と性質において神となり、団体の神・人を生み出して、肉体における神の現れとなるということです——ローマ 8:3. 1:3-4. エペソ 4:24。

## 信仰——神が人に対する彼のエコノミーを完成する唯一の方法

### I. 新約において、信仰は二つの意味（客観的と主観的）を帯びています：

- A. 客観的な意味で、信仰とは、キリストのパーソンと彼の贖いの働きに関する新約の啓示全体を指しています——使徒 6:7. 14:22. ローマ 16:26. I コリント 16:13. I テモテ 1:19 後半. ユダ 3, 20 節。
- B. 主観的な意味で、信仰とは信じる行為を指しています——ルカ 18:8. マルコ 11:22。

### II. 信仰とは、神が人に対する彼のエコノミーを完成する唯一の方法です——ヘブル 11:6：

- A. 神のエコノミーは信仰の中にある、すなわち、信仰という範囲と要素の中にあり、神の中のまたキリストを通しての事柄です——I テモテ 1:4。
- B. 信仰は、人が神の新約エコノミーにおいて神と接触する唯一の要求です——4 節. ヘブル 11:1, 6。
- C. 神の新約エコノミーは、ご自身を彼の選びの民の中へと分与することであり、天然の領域の中に、また律法の働きの中にあるのではなく、キリストを信じることによる再生を通しての、新創造の霊的な領域の中にあります——ガラテヤ 6:14-15. 3:23-26：

- 1. わたしたちは信仰によって神から生まれて彼の子たちとなり、彼の命と性質にあずかって彼を表現します——26 節. ヨハネ 1:12-13. II ペテロ 1:4。
- 2. わたしたちはキリストを信じることによってキリストの中へと置かれ、彼のからだの肢体となり、彼であるすべてにあずかって彼を表現します——ヨハネ 3:15. ローマ 12:4-5。

### III. 信仰とは、神が新約における彼の民を扱う原則です——ガラテヤ 3:22-24：

- A. この信仰はキリストにある信者たちを特徴づけ、律法を守る者から彼らを区別します。これはガラテヤ人への手紙の主要な強調です。
- B. 旧約の律法は文字と規定を強調しますが、新約の信仰は霊と命を強調します。
- C. 信仰は、神が手順を経ることを通して、神の民にとって彼であるすべてを彼らが理解し、了解し、把握し、享受し、あずかる方法です——2, 5, 14 節。

### IV. 信者が義とされるキリストにある信仰は、最も尊い方としての神の御子のパーソンを、彼らが理解することと関係があります——ヘブル 12:2：

- A. 信仰の経験的な解釈は、信仰とはわたしたちの中へと注入されたイエスの尊さであるということです。
- B. 真の信仰とは、わたしたちの中へと注入されて、わたしたちの信じる能力となったキリストご自身です。主イエスはわたしたちの中へと注入された後、自然にわたしたちの信仰となります。

### V. 神の御子の信仰は、わたしたちの中のイエス・キリストの信仰であり（ガラテヤ 2:16）、それはわたしたちが彼を信じる信仰となります——3:22. ローマ 3:22, 26：

- A. わたしたちが主を見つめ、彼に聞き、彼を尊ぶとき、彼は、信仰がわたしたちの中で生み出されて、わたしたちが彼を信じることができるようにします——マタイ 17:5. ヘブル 12:2。

- B. キリストはわたしたちの中の信仰となり、それによってわたしたちは彼を信じます。  
この信仰は彼にある信仰であり、それはまた彼に属する信仰でもあります——ローマ 3:22. ガラテヤ 2:16。
- C. わたしたちはキリストを信じるとき、彼の中へと入ります。わたしたちは自分自身をキリストの中へと信じ、それによって彼と一つ霊になります——ヨハネ 3:15. I コリント 6:17。